

市長退任のあいさつ



大船渡市長
戸田 公明

平成22年12月に大船渡市長に就任して以来、3期12年にわたり、舵取り役として、市政の推進に全力を注いでまいりましたが、12月2日の任期満了をもって退任することといたしました。長きにわたり、市長の重責を担うことができたのも、多くの皆様の温かいご支援とご協力の賜物と心から深く感謝申し上げます。

顧みますと、就任から3カ月を経過した平成23年3月11日、東日本大震災大津波の来襲を受け、未曾有の被害に見舞われました。以来、国内外からの温かい励ましと多大なご支援を糧に、市民の皆様と心を一つにして立ち上がり、復旧に取り組みました。同年10月には、「大船渡市復興計画」を策定し、それから250余りの復興事業を推進しました。この計画に登場した事業は、42自治体および3民間団体から延べ500人を超える派遣職員を受け入れ、関

係者とともに懸命に取り組んだ結果、計画どおり10年でほぼ完了したところであります。

また、各種復旧・復興事業の推進とともに、起業支援や企業誘致の推進、被災地の利活用の促進、さらには男女共同参画推進などにも配慮してまいりました。これらにより、市内総生産および市民一人当たりの所得額は、ともに震災前よりも高いところに軟着陸しました。

さらに、令和3年度から10年間の「総合計画2021」、令和2年度から5年間の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」など10余りの重要計画を策定し、今後の進むべき道程を示したところであります。今後は少子高齢化・人口減少の長い時代が続きます。これは、誰もが経験したことのない厳しい状況でありますが、学ぶべきを学び、考えるべきを考え、知恵と勇気をもって行動する限り、夢と希望あふれる明るい未来が切り拓かれるものと確信しております。

最後に、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。12年間、本当にありがとうございました。市長退任のご挨拶とさせていただきます。

戸田市政12年の歩み

- 平成22年 戸田市長就任
- 平成23年 東日本大震災発生



平成23年3月11日の記者会見

- 災害復興推進本部設置
- 東日本大震災犠牲者合同慰霊祭開催
- 大船渡市復興計画策定
- 大船渡市被災者住宅再建支援事業創設
- 復興のまちづくりに向け地区懇談会の開催



各地区のまちづくりへの想いを聞いた

- 平成26年 災害廃棄物処理完了
- 新大船渡市魚市場供用開始
- 碁石海岸インフォメーションセンター・キャンプ場・乱曝谷展望台開設
- 三陸総合運動公園、市民体育館供用再開
- 大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会設置
- 勤労青少年ホーム、働く婦人の家供用再開
- 大船渡市観光ビジョン策定
- 三陸公民館供用再開
- 大船渡市東日本大震災記録誌の発行
- 五葉山太陽光発電所本格稼働開始



五葉山太陽光発電事業に係る基本協定調印式

- 平成27年 三陸沿岸道路吉浜道路（三陸IC～吉浜IC間）開通
- まちづくり会社「株式会社キャッセン大船渡」設立

- 平成28年 大船渡市まちなか再生計画策定
- 大船渡駅周辺地区第1期まちびらき開催（駅前交通広場、BRT専用道、宿泊施設の完成等）
- 越喜来こども園舎・越喜来小学校舎完成

- 平成29年 赤崎中学校新校舎完成
- 湾口防波堤完成式典開催
- 主要地方道大船渡綾里三陸線小石浜～白浜地区トンネル区間開通
- 赤崎小学校新校舎完成
- 防災センター完成
- 大船渡駅周辺地区第2期まちびらき開催（商業施設オープン）

- 平成30年 大船渡市防災観光交流センター完成
- 防災集団移転促進事業中赤崎地区公益施設移転先宅地造成完成により市内全ての宅地造成完了
- 大船渡駅周辺地区第3期まちびらき開催（大船渡市防災観光交流センター落成、大船渡駅周辺地区の商業施設との連携）
- 市営球場供用再開
- 山村広場供用再開により市内全スポーツ施設復旧完了

- 平成31年（令和元年） 赤崎地区公民館完成
- 大船渡駅周辺地区第4期まちびらき開催（大船渡駅周辺地区土地区画整理事業基盤整備竣工式、夢海公園オープン）

- 令和2年 野々田緑地公園（サン・アンドレス公園）供用開始

- 令和3年 甫嶺復興交流推進センター開所

- 令和4年 海岸保全施設復旧工事完了
- 大船渡市総合計画2021策定
- 復興記録誌発行
- 市制施行70周年記念式典開催



平成28年7月 ご支援いただいたイギリス国際緊急援助隊を訪問し、謝意と復興状況を伝えた